

# 家庭科 学習指導案

1. 日時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇、△時限
2. 場所 〇〇市立〇〇幼稚園、〇〇市立〇〇中学校  
または調理室または本校グラウンド
3. 学年・組 第2学年〇組、△組
4. 科目・単元名 家庭基礎 子どもとの触れ合いから学ぶ  
使用教科書：『家庭基礎 自立・共生・創造』（東京書籍）

## 5. 単元（題材）の目標

### （1）【知識及び技能】

- ・ 幼児期の心身の発達と生活などの特徴、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。
- ・ 幼児との交流を通して幼児の安全性について理解するとともに、適切に対応することの重要性を理解する。

### （2）【思考力、判断力、表現力等】

- ・ 子どもを生み育てることの意義について考えるとともに、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察する。
- ・ 幼児との交流における、幼児の安全性についてのテーマを考え、テーマの設定理由や考えた過程を表現する。
- ・ 幼児に伝えたいテーマに基づき、幼児の発達段階に合わせた教材・台本を作成し、幼児に対して工夫しながら適切な発表を行う。

### （3）【学びに向かう力、人間性等】

- ・ 幼児を取り巻く様々な課題に対する意識を持ち、より良い保育の在り方を主体的に創造しようとする実践的な態度を身に付ける。
- ・ 自ら意欲的に触れ合い体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品の制作や保育の実現に向けて主体的かつ協働的に取り組み、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの生活や社会に生かしていこうとする態度を身に付ける。

## 6. 教材観

この単元は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）「家庭基礎」の内容A 人の一生と家族・家庭及び福祉の（3）子供の生活と保育ア・イに対応している。また、B 衣食住の生活の自立と設計の（1）食生活と健康の食育や（3）住生活と住環境の防災の観点も含んでいる。これまでの学習を生かして家庭や地域における保育を推進する活動を行うことをねらいとしている。乳幼児の心身の発達や生活の特徴、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、保育の総まとめの学習として、近隣の幼稚園児のための遊び・食育・防災について考えることで、生徒が地域の中の一員であることの自覚を持ちながら、自分ごととして取り組むことができ、学びが深まると考えている。

## 7. 生徒観

（略）

## 8. 指導観

本単元において、はじめ、生徒たちは幼児期の発達の特徴について未学の状態で幼児に接することになるが、そこから幼児と複数回ふれあうことによって、月齢による成長の違いを感じたり、交流による繋がり（愛着）や愛らしさを知ったりしながら、保育の楽しさと難しさを深く実感する。

また、交流を通して自身の成長過程を振り返ること、子育て支援のひとつとして幼稚園教諭の仕事を知ることは、生徒たちが幼児を取り巻く社会環境についても考えるきっかけとなる。

幼児に関する基本的な事項について学習したあとは、それらの知識やこれまでの学習を活用し、実習先の幼稚園児に伝えたいテーマとその方法を班で協力して考える。テーマに応じた遊びやそれを遂行するための工夫を考える場面を設定することで、主体的かつ協働的に取り組む

ことをねらいとしたい。

本事例では、実習や講義を通して積み重ねてきた知識・技能や、思考してきたこと等を活用して、本時（第 11 時）の課題に取り組むこととしており、単元を通じた生徒の資質・能力の育成につなげている。

生徒は 1、2 回め（1、2 学期）の園児との交流により見通しを立て、交流した園児に（各クラスで設定した）課題の中で特に何を伝えたいかを班で考える。そして、各クラスで設定した課題に応じた交流を実施する演習として、3 回め（3 学期）の交流内容を計画し、様々な知識や技能を関連させ、より良い交流の実現に向けた準備や当日の実習に取り組む。

第 12 時は生徒が自身の「実践を評価・改善する」場面となっており、他者の取り組みの発表から着眼点の違いや工夫を知ることによって、自身の課題を振り返り、改善点や新たな課題を見出すことができるものとなっている。

なお、園の交流行事はそれぞれ 2 時限分となることから、交流を前半と後半に分け、関わるクラスの生徒を交互に変えており、2 クラスにわたって課題に取り組んだ事例を後に示す（1. 本時の展開（4）本時の学習過程）。

また、今回は避難訓練・防災というテーマを取り上げたが、指導案のパターン以外にもクラスで出た課題のテーマによって、運動遊びと調理実習、運動遊びと絵本の読み聞かせなどを組合せた交流も行っている。

### 9. 単元の評価規準

知識・技能【a】	思考・判断・表現【b】	主体的に学習に取り組む態度【c】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期の心身の発達と生活などの特徴、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な知識や技能を身に付けている。</li> <li>・ 幼児の安全性及び適切に対応することの重要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児との交流における、幼児の安全性についてのテーマを考え、テーマの設定理由や考えた過程を適切に表現している。</li> <li>・ 幼児に伝えたいテーマに基づき、幼児の発達段階に合わせた教材・台本を作成し、幼児に対して工夫しながら適切な発表をしている。</li> <li>・ 子どもを生み育てることの意義について考えているとともに、こどもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児を取り巻く様々な課題に対する意識を持ち、より良い保育の在り方を主体的に創造しようとする実践的な態度を身に付けている。</li> <li>・ 自ら意欲的に触れ合い体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて主体的かつ協働的に取り組んだり、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの人生や生活に生かそうとしたりしている。</li> </ul>

- ：総括的評価（記録に残す評価）  
●：形成的評価（指導に生かす評価）

### 10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全 12 時間）

時	学習内容・学習活動	評価の観点			評価規準【観点】 (評価方法等)
		a	b	c	
第 1 時	オリエンテーション (教員による保育体験の内容説明、注意点の提示) 幼児との接し方や交流での心得について理解する。	●			交流での心得から、幼児と適切に関わるための基礎的な知識や技能を身に付けている。【a】(レポート) 交流での心得から、幼児の特徴を知り、幼児の安全性や適切に対応することの重要性について理解している。【a】(レポート)
第 2 時	園児との交流体験実習(第 1 回め 1 学期) 園児との交流を通して、幼児の発達や特徴について理解するとともに今後の交流方法について見通しをたてる。	●	●		園児との交流体験実習を通して、幼児期の心身の発達と生活などの特徴、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な知識や技能を身に付けている。【a】(行動観察、レポート) 園児との交流を通して幼児の安全性につい

				て考えるとともに発達段階に合わせた教材やテーマを考えている。【b】（レポート）	
第3～5時	<b>幼児の発達や生活</b> 幼児の心身の発達や遊びや生活、親の役割と保育について理解する。 子どもを取り巻く社会環境や支援について理解する。 <b>名札づくり</b> 折り紙で名札を作成する。 <b>オリエンテーション</b> 次回の交流に向けて接し方や注意点の再確認をする。		○	子どもを生き育てることの意義について考えているとともに、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察できる。【b】（レポート）	
第6時	<b>園児との交流体験実習（第2回め2学期）</b> 園児との交流を通して、第1回めの交流をふまえ、より良い交流となるよう、考えながら接する。	●	●	園児との交流体験実習を通して、幼児期の心身の発達と生活などの特徴、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な知識や技能を身に付けている。【a】（行動観察、レポート） 幼児を取り巻く様々な課題に対する意識を持ち、より良い保育の在り方を主体的に創造しようとする実践的な態度を身に付けている。【c】（行動観察、レポート）	
第7～9時	<b>制作・練習</b> 対象園児に応じた課題解決に対するテーマの設定・検討・制作計画の立案を行う。各クラスや班で設定したテーマに合ったゲームや紙芝居、劇、調理などを制作・準備・練習する。 <b>プレゼントづくり</b> 折り紙でプレゼントを作成する。		●	●	園児との交流を通して、幼児の安全性について考えているとともに発達段階に合わせた教材やテーマを考えている。【b】（行動観察、レポート） 自ら意欲的に交流体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて主体的に取り組んだり、様々な知識や技能を関連させたりしている。【c】（行動観察）
第10時	<b>リハーサル</b> 事前指導、より良い発表につながるよう改善・修正を行う。		●	●	幼児に伝えたいテーマを考えているとともに、テーマの設定理由や考えた過程を適切に表現している。【b】（ワークシート、制作物品） 自ら意欲的に交流体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて様々な知識や技能を関連させ、主体的かつ協働的に取り組んでいる。【c】（行動観察、ワークシート）
第11時（本時）	<b>園児との交流体験実習（第3回め3学期）</b> 第1、2回めの交流をふまえ、より良い交流となるよう、考えながら接する。また、その中で園児の様子や発		○	○	幼児との交流における、幼児の安全性についてのテーマを考え、テーマの設定理由や考えた過程を適切に表現している。【b】（制作物、ワークシート） 自ら意欲的に交流体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて主体的かつ協働的に

	達を確認しながら、各課題の解決にも取り組む。			取り組んだり、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの人生や生活に生かそうとしたりしている。【c】（行動観察）
第12時	<b>実践の発表</b> 他者の交流実習についての取り組みの発表から着眼点や工夫について知るとともに自他の振り返りにつなげる。 <b>振り返り</b> 園児との交流で気が付いたことや発見したこと、また、園児の反応から発表のねらいや工夫が伝わったかどうかなどについて振り返る。	○	○	幼児の安全性について理解しているとともに、適切に対応することの重要性を理解している。【a】（レポート） 自ら収集した情報を生かして、より良い保育の実現に向けて主体的に取り組んだり、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの人生や生活に生かそうとしたりしている。【c】（レポート）

※「知識・技能」の観点の総括的評価については定期考査においても行う。

## 11. 本時の展開

### (1) 本時の目標

幼児に伝えたいテーマに基づき、幼児の発達段階に合わせた教材・台本を使い、園児に対して適切な発表を行う。

園児との交流を通して、様々な知識や技能を関連させ、より良い保育の実現に向けて主体的かつ協働的に取り組む。

### (2) 本時の評価規準

幼児との交流における、幼児の安全性についてのテーマを考え、テーマの設定理由や考えた過程を適切に表現している。【b】

自ら意欲的に触れ合い体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて主体的かつ協働的に取り組んだり、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの人生や生活に生かそうとしたりしている。【c】

### (3) 観点別学習状況の評価の判断基準の設定

判断基準 評価規準	「十分満足できる」状況 (A)	「おおむね満足できる」 状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) と判断する生徒に対する 指導のてだて
【b】	各班のテーマに基づき、園児の発達段階に合わせた教材・台本を使い、園児に対して工夫するとともに、その場の状況に応じて判断や表現しながら適切に発表している。	各班のテーマに基づき、園児の発達段階に合わせた教材・台本を使いながら、園児に対して工夫しながら適切な発表をしている。	各班で考えたテーマに合わせて、自分ができることは何かを考えるよう促し、スムーズに取組みが進められるよう助言を行う。
【c】	自ら意欲的に触れ合い体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて主体的かつ協働的に取り組んだり、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの人生や生活に生かそうとしたりしているとともに、幼児の反応や行動に応じた対応をしている。	自ら意欲的に触れ合い体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて主体的かつ協働的に取り組んだり、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの人生や生活に生かそうとしたりしている。	周囲を観察しながら、園児に対して自分ができることや協力できることは何かを考えるよう促し、拍手をしたり、案内したり、荷物を運んだりするよう助言を行う。

(4) 本時の準備物

生徒が制作した課題の制作物（紙芝居、名札）、劇の小道具、折り紙のプレゼント

(5) 本時の学習過程（避難訓練、調理実習、運動遊びのうち、避難訓練の場合）

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入と移動 5分	<p><b>クラスAについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集合、出席確認、諸注意を確認する。</li> <li>○幼稚園へ向かう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席した生徒がいる場合、その生徒の役割を他に割り当てられるか確認する。</li> </ul>	<p>幼児との交流における、幼児の安全性についてのテーマを考え、テーマの設定理由や考えた過程を適切に表現している。【b】</p> <p>自ら意欲的に交流体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて主体的かつ協働的に取り組んだり、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの人生や生活に生かそうとしたりしている。【c】</p>
展開① 25分	<p>(幼稚園に到着)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をする。</li> <li>○本日のテーマや今から行うことを園児に説明する。</li> <li>○園児と一緒に中学校へ向かう。</li> <li>○園児とおしゃべりをしたり、交通安全に注意を促しながら手をつないだり、おんぶをしたりしながら移動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素早くペアになり、園児をサポートしながら避難訓練を行う。</li> <li>・幼児の安全や移動遅れに気を付けながら移動する。</li> </ul>	
展開② 10分	<p>(中学校に到着)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グラウンドで防災の大切さを幼児に伝えるための紙芝居や劇を行う。</li> <li>○ペアになった園児とコミュニケーションをとりながら紙芝居や劇に集中できるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの園児とコミュニケーションが難しい生徒に声掛けをする。</li> </ul>	
移動 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校へ戻る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通に気を付けながら移動する。</li> </ul>	
集合と移動 10分	<p><b>クラスBについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集合、出席確認、諸注意を確認する。</li> <li>○中学校へ向かう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席した生徒がいる場合、その生徒の役割を他に割り当てられるか確認する。</li> <li>・交通に気を付けながら移動する。</li> </ul>	<p>幼児との交流における、幼児の安全性についてのテーマを考え、テーマの設定理由や考えた過程を適切に表現している。【b】</p> <p>自ら意欲的に交流体験のための情報を収集し、その情報を生かして、より良い作品制作や保育の実現に向けて主体的かつ協働的に取り組んだり、様々な知識や技能を関連させて自分自身のこれからの人生や生活に生かそうとしたりしている。【c】</p>
展開③ 10分	<p>(中学校に到着)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をして園児とペアになる。</li> <li>○グラウンドで防災の大切さを幼児に伝えるための紙芝居や劇を行う。</li> <li>○ペアになった園児とコミュニケーションをとりながら紙芝居や劇に集中できるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアの園児とコミュニケーションが難しい生徒に声掛けをする。</li> </ul>	
展開④ 25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園児と一緒に幼稚園へ向かう。</li> <li>○園児とおしゃべりをしたり、交通安全に注意を促しながら手をつないだり、おんぶをしたりしながら移動する。</li> </ul> <p>(幼稚園に到着)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今日のテーマの確認や復習を園児と行う。</li> <li>○挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素早くペアになり、園児をサポートしながら避難訓練を行う。</li> <li>・幼児の安全や移動遅れに気を付けながら移動する。</li> </ul>	
移動 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校へ戻る。</li> </ul>		

※クラスAの生徒が園児を避難訓練場所へ連れていき、防災教育を行った後、クラスBの生徒が同じ園児に対し異なる内容の防災教育を行い、園に連れ帰る形態。

## 12. 本事例を実践した振り返り

テーマとして、避難訓練、調理実習、運動遊びや絵本の読み聞かせだけでなく、より広く地域の人を巻き込んだ交流ができるようなテーマを考えるよう生徒を促すといったことが考えられる。それにより、(4) 高齢期の生活と福祉とのクロスカリキュラムとすることもできるだけでなく、年齢や立場、状況などによって配慮すべきことや課題が変わるということにも生徒が気づき、街や地域や市民を俯瞰した交流計画を考える力の育成につながるのではないかと考える。